

# みやぎ自動車産業振興ビジョン【概要版】

## 1 背景・趣旨

(これまで)

- 2006.5 みやぎ自動車産業振興協議会 設立
- 2011.1 県内初の完成車工場 稼働開始
- 2012.5 みやぎ自動車産業振興プラン 策定

(これから)

- ▶ 宮城の自動車関連産業が持続的に成長・発展するためには、この変革期を好機と捉え積極的・戦略的に展開する必要がある

(現在)

- 〔宮城・東北の動き〕
- 自動車関連産業の集積(企業立地, 新規参入・取引拡大)
  - コンパクトカー生産拠点化の進展
- 〔新たな環境変化等への対応の必要性〕
- 国内生産の減少, グローバル競争の激化
  - CASE・モビリティサービス(MaaS)の進展
  - 新型コロナウイルス感染症への対応 など

- ▶ 今後10年先を見据えた本県の自動車産業の更なる振興に向けて、県内の関係者が連携し、一体となった取組を効果的に進めるため、基本的な考えや方向性を共有する「新たな計画(ビジョン)」を策定する

## 2 目的・位置付け

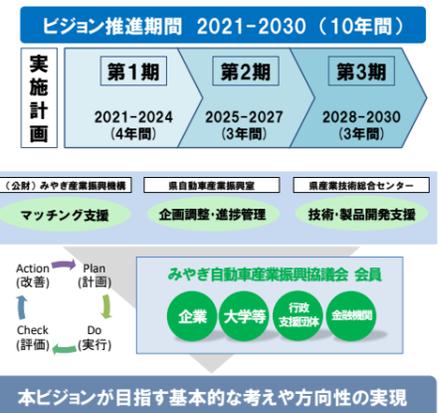
- 今後目指す基本的な考えや方向性の実現に向けた取組方針を明らかにすることを目的とし、今後10年間の協議会活動の基本となる計画として位置付け
- 県の「新・宮城の将来ビジョン」の政策推進の基本方向や取組と協調して推進(政策推進の基本方向1「富県宮城を支える県内産業の持続的な成長促進」)
- 県の産業施策に関する他の計画や事業とも相互に連携して推進

## 3 推進期間

- 2021(令和3)年度から2030(令和12)年度までの10年間  
→ 具体的取組は3つの期間区分による実施計画により推進

## 4 推進体制

- (公財)みやぎ産業振興機構, 県自動車産業振興室, 県産業技術総合センターによる三位一体で推進
- 協議会会員とともに、協議会の総力を挙げて、本ビジョンの実現に取り組む



## 5 自動車関連産業の現状

### ■宮城の自動車関連産業集積の状況

- 立地・進出企業 ▶ 2010年以降, 30社近くが立地又は進出を決定
- 参入企業 ▶ 県内に広く分布, 特に県北地域に多く立地・集積
- 輸送用機械器具製造業
  - ▶ 製造品出荷額等 5,457億円 ▶ 付加価値額 1,234億円
- 県内総生産(輸送用機械製造業)
  - ▶ 名目 1,320億円 ▶ 実質 1,118億円

### ●輸送用機械器具製造業(製造品出荷額等)



### ●輸送用機械器具製造業(付加価値額)



### ●県内総生産(輸送用機械製造業)



### ■国内動向

- 国内の生産台数・販売台数の減少
- 次世代自動車の開発・普及
- 車両のエレクトロニクス化の進展
- 自動車メーカーのモビリティサービス(MaaS)への移行

## 6 これまでの取組と成果

- ▶ みやぎ自動車産業振興プラン(2012年5月策定)に基づき、「受注獲得」「人材育成」「技術開発」の3つの取組を推進

→ 目標(10年間で新規受注獲得300件)を上回る実績

年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	累計
件数	16	48	49	54	52	54	45	58	42	50	468

(主な取組成果)

- 自動車関連誘致企業の増加
- 県内企業の自動車関連産業への参入の増加
- 県内企業の自動車関連取引数の増加
- 完成車メーカーとの取引企業の増加
- 製造品出荷額等・付加価値額, 県内総生産の増加

(主な課題・考慮すべき視点)

- 全体 ▶ 自動車関連産業の持続的成長・発展, 競争力の強化 ▶ 取引拡大・現地調達化に向けた更なる推進 ▶ 他地域との差別化, 競争力優位性の確保 ▶ 地域の核となる地元企業・連携組織の育成
- 受注獲得 ▶ 効率性の高い生産手法の導入, 取引関係維持・失注防止への対応 ▶ 更なる新規参入促進への対応 ▶ 自動車部品の共通化・共有化, EV普及による部品点数大幅減少への対応
- 人材育成 ▶ 生産活動の効率化・省人化等の取組の推進 ▶ 受講しやすい研修・セミナーの企画・実施, 環境づくり ▶ 参加企業ニーズや学生の興味・関心に合致した魅力的な内容の企画・提供, 参加者との交流促進
- 技術開発 ▶ 最新技術の動向把握・予測による開発力・提案力の向上 ▶ CASE分野における技術開発等の促進 ▶ 品質確保やコスト低減に対応した技術・製品開発等 ▶ 継続して製品開発できる仕組みや環境の整備

### みやぎ自動車産業振興プランの概要

- ▶ 「受注獲得」「人材育成」「技術開発」を3つの柱に設定
- ▶ 10年間で「新規受注獲得件数300件以上」を目標に設定



## 7 今後の取組

(これまでの10年間)「車づくりが宮城に根付く」ことを目指し、新規参入・取引拡大のための取組を実施(現在)環境変化への対応が必要

- 人口減少・少子高齢化
- CASE等の技術革新
- 震災からの復興需要の収束
- 新型コロナウイルス感染症対策 など

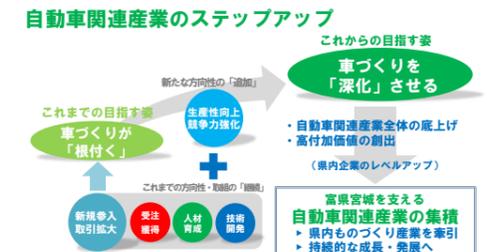
### ■10年後の目指す姿

宮城の自動車関連産業が、自動車生産拠点としての生産性・競争力の高い企業集積の形成により、県内ものづくり産業を牽引し、持続的に成長・発展している

～「車づくりが宮城に根付く」段階から「車づくりを宮城で深化させる」段階へのステップアップ～  
(自動車関連産業全体の底上げ, 高付加価値の創出)

### ■取組の方向性

- 県内企業の受注獲得・取引創出に直接結びつける「受注機会の創出」
- 自動車関連産業を支える「人材の創出・育成」
- 次世代技術・サービス等に対応する「新技術の開発・活用の推進」
- 経済社会環境の変化に対応する「生産性の向上」
- 多様な取引・発注ニーズ等に対応する「競争力の強化」



### ■達成目標

- 自動車関連産業\*の製造品出荷額等・付加価値額
  - ▶ 製造品出荷額等 1兆726億円(2018年) → 1兆2,605億円(2030年)
  - ▶ 付加価値額 4,263億円(2018年) → 4,916億円(2030年)

### ■重点取組分野

- ▶ 受注獲得・取引創出 取引あっせんや展示商談会の開催などにより、県内企業の受注獲得や取引創出を図る
- ▶ 人材創出・育成 知識・技術習得の機会の場の提供により、県内で活躍する人材の創出や育成を図る
- ▶ 技術開発・技術力強化 次世代技術に関する製品開発やAI・IoT等活用の生産技術向上により、技術開発や技術力強化を図る

### 第1期実施計画(2021-2024年度)

【達成目標】 ▶ 製造品出荷額等 1兆1,348億円 ▶ 付加価値額 4,510億円

- ▶ 受注獲得・取引創出 (数値目標: 新規受注獲得件数 160件)
  - ▶ 取引情報収集・取引あっせん事業 ▶ とうほく合同展示商談会開催事業 ▶ 県単展示商談会事業
- ▶ 人材創出・育成 (数値目標: 研修等受講者数 延べ1,200人)
  - ▶ みやぎカーインテリジェント人材育成センター研修事業 ▶ 自動車技術研修事業
  - ▶ 自動車関連産業セミナー開催事業 ▶ 自動車関連人材育成補助事業
- ▶ 技術開発・技術力強化 (数値目標: 支援企業件数 延べ300件)
  - ▶ 生産現場改善支援事業 ▶ 新技術・新工法研究開発促進事業 ▶ 製品開発力強化支援事業